

第3回 憇の家指定管理者選考委員会 議事録概要

日時 令和7年10月20日（木）10:00～11:20

場所 衣笠コミュニティセンター 3階 多目的室

出席者（選考委員） 有識者：手塚明美、岩本毅、二本木佳代子

市職員：清水佳子、藤原一葉

*参考：傍聴者 5名

1. 開会（非公開）

事務局から会議の成立（委員5名中、5名出席。）を報告した。また、本日の議事次第及び進行を説明した。

2. 提案内容（不開示情報）に関する意見交換（※非公開）

提案内容のうち企業ノウハウなどの不開示情報に関する意見交換を非公開で行った。

3. 次期指定管理者候補の選定（※公開）

冒頭、事務局から本日の選考委員会の進め方、本日の選考委員会は第2回の公開プレゼンテーションを踏まえての意見交換であること、事前に非公開で不開示情報に関する意見交換を行っていることを傍聴人に説明した。

その後、以下のとおり、各委員から提案内容に関する意見があり、各委員による個別の採点を行った後、事務局が採点結果を集計し、各委員に集計結果に誤りがないことを確認したうえで、事務局から採点結果と選考団体の決定について発表した。

概要は次のとおり。

（1）株式会社キャリエ・レゾ

①法令遵守

委員：全職員を対象とした研修や理解確認テストの実施など、法令遵守のための体制が整っている。

②施設管理

委員：同種施設の管理実績はないが、業務の効率化や省エネ対策等を取り入れた管理体制を構築している。

デジタル技術の利活用、環境負荷低減に向けた数値目標を取り入れた運営は先進的である。

③利用者への配慮

委員：ルールの明確化や利用者目線での環境整備、利用者の意見を聞き反映させる仕組みは評価できるが、地域運営協議会との連携や代表者による意見交換会の実施へのハードルは高いように感じる。

多様な利用者の特性に応じた対応策、不適切行為への段階的対応に期待したい。

④リスクへの対応

委員：防犯・防災マニュアルが整備されており、訓練の実施やスタッフへの研修など、不測の事態へ対応するための具体的な取り組みを行っている。

リスク対応におけるPDCAサイクルの確立が期待できる。

⑤障害者、男女共同参画及び多様な性への配慮

委員：基準日時点で障害者雇用率は未達成だが、プレゼンテーション時時点では達成していることが確認できており、男女共同参画や多様な性への配慮についても社内規定を整備していることを評価する。

法定障害者雇用率は、一時的とはいえ未達成となる期間があつてはならないことで、今後一層の努力が求められる。

⑥地域貢献

委員：地元人材の積極的な雇用に加え、市内の他団体との連携による地域の活性化が期待される。

幅広い分野の団体との連携、貢献の面的広がりが期待できる。

⑦人員体制

委員：通常時の適正な職員配置に加えて、イベント等の臨時的人員の確保や外部監査要員等、人材派遣会社としての強みが期待できる。

⑧講座の実施

委員：高齢者向けスマホ教室等の各年代に向けた企画があり、自社人材を講師として活用できる見込みがある。

ICT の強みを活かした新規の講座は、現代的課題に即しており、魅力的である。

今までにないアイディアが多く魅力的だが、当該施設の特性を鑑みると実行に不安が残る。

⑨施設利用促進の取り組み

委員：デジタル技術の利活用や、IT 関係の取り組みに強みがあると推察する。施設利用の在り方に具体性があり期待できる。

多世代が楽しめる魅力的な取り組みが多かった。

世代交流を目的とした「教えあいの会」、全世代に向けた「アートの日」の開催に加え、屋外広告の設置や SNS での発信等、幅広い層への施設の周知・利用促進が期待できる。

⑩安全対策

委員：防犯・防災マニュアルの整備やそれに基づいた訓練・研修の実施等により、事故防止や災害への備え、感染症対策に取り組んでいる。

災害種別ごとに現実的な対策が講じられているのか不明確である。

⑪利用者への対応

委員：玄関スロープの通行スペース確保等の環境整備やセラピーロボットの設置検討など、多世代の利用者に向けた工夫が見られる。

⑪指定管理料

委員：自社に在籍する有資格者の活用により、講師料や施設管理費の削減が見込まれ市民サービスへの有効活用が期待できる。

様々な経費削減計画により、市民サービスの向上が見込める。

（2）一般財団法人 シティサポートよこすか

①法令遵守

委員：「コンプライアンス推進会議」の定期的な開催や、個人情報保護や情報公開をテーマにした職員研修の実施等、適切な運用が見込まれる。

個人情報保護、情報公開制度を適正に運用してきた実績は評価できる。

②施設管理

委員：当該施設に加えて同種の施設の運営実績があり、施設管理において適切な対応が十分期待できる。

施設点検マニュアルの整備、利用者ニーズの的確な把握に向けた取り組みの水準は高いと推察される。

③利用者への配慮

委員：利用者アンケート調査の実施や利用者目線を意識したチェック体制など、利用者の声を反映するしくみづくりを行っており、多様な利用者への具体的配慮が考えられている。

④リスクへの対応

委員：「緊急対応マニュアル」等が整備されており、全スタッフが普通救命講習を受講している等、日常のリスク対応策が講じられている。

近隣地域の防災対策まで意識をしていることは大変評価できる。

⑤障害者、男女共同参画及び多様な性への配慮

委員：障害者雇用率を達成し、雇用の創出を含めた様々な障害者支援に取り組んでいるところから、他の分野においても相応の配慮が見込まれる。

法定障害者雇用率の達成や、障害者団体支援の実績は高く評価できる。

男女共同参画及び多様な性への配慮に関して、組織として目標を立てていること、達成への努力と実績があること、職員研修の実施などは、評価に値する。

⑥地域貢献

委員：高校と連携した活動をはじめ、地域の子どもたちを対象にした活動を実施しており、幅広い分野における地域貢献が見込まれる。

これまでの具体的な取り組み事例・実績、提案などを踏まえ、町内会・自治会や地域団体との連携・協力などを念頭に置いた、地域密着型のきめ細やかな地域貢献が期待できる。

⑦人員体制

委員：法人全体での実績を生かし、経験者や資格者の適切な配置が期待される。近隣施設との人材交流なども期待するところである。

運営実績を踏まえ、概ね適切な人員体制が構築されていると推察する。

⑧講座の実施

委員：もう少し子ども向けのイベントがあると良い。

幅広い地域ネットワークを駆使した多世代に向けた講座の開催計画があり、当該施設の利用団体にも池上コミュニティセンターまつりでの活動発表の機会が設けられている。

⑨施設利用促進の取り組み

委員：法人全体での実績を生かし、池上コミュニティセンターや、本町市民交流スペースと連携したイベントや講座の実施、地域メディアとの連携等、利用促進の取り組みが期待できる。

利用者のちょっとしたお困りごとを相談という形で聞き取ることで、信頼性を確保し、利用の促進を図ることができると考えられる。

⑩安全対策

委員：防災体制は地域町内会と協力を願いたい。

法人としての台風災害等への経験を踏まえた緊急時体制の確立に加え、職員への安全教育等、日頃の事故防止や熱中症・感染症対策に取り組んでいる。

⑪利用者への対応

委員：クレーム・トラブル対応をはじめ、きめ細やかな利用者対応が期待でき、多世代の利用者に応じた日常的な心遣いが感じられる。

⑫指定管理料

委員：今後も物価高騰が予想される中、法人のスケールメリットを活用した消耗品費の削減は評価できる。

小破修繕等の即時対応についても、利用者サービスの向上につながると考える。

（3）採点

各委員が採点を行い、事務局が各委員から採点表を回収し、集計作業を行った。作業後に採点結果集計表を配付し、採点結果に誤りがないことを確認した。

（4）選定事業者の発表

事務局が採点結果集計表をモニターに表示して発表した。申請団体それぞれの合計得点は、株式会社キャリエ・レゾが 630 点、一般財団法人シティサポートよこすかが 685 点で、総得点が最も高く、かつ最低基準を満たしている一般財団法人シティサポートよこすかが、次期指定管理者と決定した。

（5）委員長総評

評価集計表を拝見すると、基礎項目の評価においては、これまでの実績や障害者雇用率といった面で、株式会社キャリエ・レゾはやや点数が伸びきらなかった印象を受けた。しかし、各施設の運営については、それぞれの特色を活かした工夫や、講座の開催、施設利用促進への積極的な取り組みが非常によく現れており、大変努力されていると感じた。また、利用者への対応や指定管理料に関しても、細かな工夫や改善の姿勢が随所に見られた。

点数の結果を踏まえ、今回は一般財団法人シティサポートよこすかを指定管理者として決定する運びとなった。とはいえ、株式会社キャリエ・レゾの積極的なアプローチや、新しい視点での提案にも大いに評価すべきものがあったと思う。そういう意味で今回の選考会は、とても良い機会になった。今後は、可能であればぜひお互いの強みを活かし合いで、良い部分を協力し合って欲しい。この新しい施設がより地域に密着した拠点となるよう期待している。最後に、傍聴いただいた皆様にお礼を申し上げる。

4. 閉会